

ホホまで守るオープンフェイスSZ-M

■オープンフェイスの新しい顔SZ-Mは、巻き込み風の減少や、ベンチレーションの向上など、機能面において大きく進化しています。しかし、アライが新製品を開発するにあたってのこだわりは、安全性の向上をいかにしてなすかという、目に見えない部分でのチャレンジにあります。■この安全面におけるSZ-Mの最大の開発目標

は、オープンフェイスでの安全性を、フルフェイスにどこまで近づけるかというものでした。オープンフェイスの最大の弱点は、フルフェイスのようにアゴの部分が左右繋がっていないので、ホホ部を保護する面積が狭く、剛性と衝撃吸収性能も劣ってしまうことです。そこで、SZ-Mでは、3つの対策を考案しました。

シェル面積の延長

SZ-Mでは、従来のSZシリーズと比較して、ホホ部のシェルを左右13ミリづつ延長しています。ホホ部面積の延長は、ホホ部への直接の衝撃を防ぐだけでなく、ヘルメットを着用した際にも、延長されたホホ部の押さえにより、フルフェイス並みの安心感あるフィット感も生み出しています。また、帽体構造のcLcも



軽量で弾性に富んだ、特殊な化学繊維を強靱なスーパーファイバー

でサンドイッチしたものに、対貫透性に優れた化学繊維を、もう一層プラスした4層構造として、帽体重量を押さえ、JIS規格よりも厳しいスネル規格品でありながら製品重量で1200グラム台後半の軽量化を実現しています。

ハイパーリブ構造

SZ-Mは、ふちの部分全周に、デザイン上の段差ではない、膨らみ(ハイパーリブ)を持たせ、たわみ等の変形に対する剛性をアップさせています。特に、ホホ部はエッジモール、シールド、ハイパーリブの3つの段差により確かな剛性を確保しています。このシェルをデザインするにあたっては、安全性と機能のみを追求し、デザイン優先の造形は全てなくしました。その結果生まれたのが、無駄な造形ひとつ含まれない、質感高い機能美を漂わせたSZ-Mのシェルなのです。



- モデル名: SZ-M
- 規格: SNELL95 JIS-C種
- 色: 白、黒、ブライトシルバー、チタングレー、ワインレッド、ディープブルー
- サイズ: (53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 価格: ¥33,000(税抜き)

ホホ部緩衝体

SZシリーズの上級モデルでは、オープンフェイスでは他に例のないイヤークップ内部側まで、緩衝ライナーを取り



付けていました。ヘルメットの性能は強靱な帽体と、緩衝ライナーにより初めて発揮されるものです。ですからフルフェイスでは、アゴ部に至るまで、ヘルメット全体に緩衝ライナーが組み合わされているのが一般的です。しかしながら、多くのオープンフェイスでは、脱ぎ被りの際に、きつく感じるなどの理由で、ヘルメット下部への緩衝ライナー取付けが見合わされています。SZ-Mでは、ホホ部緩衝ライナーの取付けレイアウトを見直し、今までのイヤークップ内部から、帽体側に移動させることにより、横に張っている頭の形状の方でも、脱ぎ被りの際、あたることのない良好なフィット感と、全体への緩衝ライナー取付けという安全性の両立を実現しています。

このようにSZ-Mは、いままで衝撃に対してほとんど無防備であったホホを保護し、従来のオープンフェイスよりも高い安全性を持つオープンフェイスとして誕生しました。このように、アライは、ユーザー様が直接目に触れることのない真の安全性を追求するために、チャレンジし続けています。

